

# 県庁インターンシップ

## ～播磨西教育事務所でのインターンシップをとおして～

作成: 兵庫県立加古川南高等学校 県庁インターンシップ実習生

私は小中学校事務職を志望しており、実際に教育を支える場所で働かれている方々を見て、小中学校事務職や教育事務職への理解を深め、自分の将来の姿を明確にしたいと思い参加しました。

播磨西教育事務所では、名刺交換練習・電話対応練習・事務処理・不登校対策播磨西地域研修会の準備や司会・新聞の切り抜きなどの業務に携わりました。

今回のインターンシップをとおして、特に印象に残ったのは研修会の運営です。実施するにあたって、会場の準備だけでなく、急なトラブルにも早急に対応しておられるのを見て、チームワークの重要性や、どんな状況でも対応する柔軟性が大切なのだと学びました。

教育を支える事務職員という立場は直接児童や生徒と関わるわけではないけれど、事務の仕事や、今回行われた「不登校対策播磨西地域研修会」のように、学校という学びの場をよりよいものにしていくために働かれておられる姿から、私も将来の姿が明確になりました。始まる前はあまり働く姿が想像できなかったけれど、将来事務職員として働く際には、学校全体をサポートしているということへの自覚を持ち、学校をみんなが過ごしやすい場所になるように貢献し、播磨西教育事務所で働かれている方々のように温かい心でたくさんの人に接することができるようになりたいと思いました。

4日間、播磨西教育事務所で働かせていただいて、皆さんが気さくに話しかけてくださったり、体調を気にかけてくださったりして本当にうれしかったです。短い期間でしたが、お世話になりました。ありがとうございました。



# 県庁インターンシップ

## ～播磨西教育事務所でのインターンシップをとおして～

作成：兵庫県立姫路海稜高等学校 県庁インターンシップ実習生

私はまだ高校一年生なので、色々な体験をして経験を積んでおきたいと思って参加しました。また、社会ではどんな仕事をしているのだろうという疑問を解決しようと参加した点もあります。

播磨西教育事務所では事務処理(書類整理、データ入力など)や電話対応、研修会の準備や司会、写真選定などを行いました。

電話対応での、クッション言葉というものが思っていたより難しく、中々うまく実践ができませんでした。他の方を見ているとスラスラと電話対応をしており、すごいなと感じました。私も会話をするときなどに、クッション言葉を使い、日々の生活で慣らしていくほうが良いと思いました。部活動で声を出す練習などが、研修会で司会をするときに活かされたので驚きました。

インターンをとおして、一つ一つの物事の大切さが理解できたような気がします。今までは、些細なことには気にも止めませんでしたが、今は少しのことにも責任を持って動けるようになったと思います。「たかが電話」でも、相手とのコミュニケーションやメモをとる力、それをしっかりと伝える伝達力、このことから「されど電話」に変化したように感じました。また協力することの大切さがより分かったような気もしました。

今後は、敬語など社会に出た際の言葉の使い方を忘れず使っていきたいと思います。学校外の方が来られたときに、積極的にコミュニケーションをとってみたいと思います。そして、敬語など丁寧な言葉で対応していきたいです。社会に必要な力を残りの高校生活を生かしてつけていきたいなとも思います。

4日間があっという間に終わり、もう少し播磨西教育事務所で働きたいなと思いました。どの方も親切で優しくアドバイスなどをくださり、温かくいい職場だなと感じました。播磨西教育事務所学んだことを更に日常生活に生かしていき頑張っていこうと思います。4日間ありがとうございました。

